

報道発表

平成22年3月29日（月）

午後1時30分

平成22年度

公立大学法人山口県立大学

当初予算報道発表資料

平成22年3月29日（月）

【問合せ先】

公立大学法人山口県立大学

経営企画室

TEL083-928-3417

担当 きむら 木村 すずもり 鈴森

公立大学法人山口県立大学 平成22年度当初予算の概要

I 予算編成方針

法人化5年目となる平成22年度は、法人化以降4年間の総合的な状況に関する自己評価を実施する年度であり、次期中期計画（平成24年度～平成29年度の6年間）の策定に向けた助走準備期間でもあります。

このため、平成22年度当初予算では、中期的視点に立った大学改革の推進や、教育研究活動の新たな展開、学生支援の充実、地域貢献・地域連携の強化等に資する経費に予算を重点配分しています。

II 当初予算の概要

1 予算規模

予算規模は、20億61百万円で、前年度当初予算（20億66百万円）に比べ、5百万円（0.2%）の減となっています。

予算総額のうち、人件費以外の事業費（教育研究に係る経費など）は、6億15百万円で、前年度（5億64百万円）に比べ、50百万円（8.9%）の増となっています。

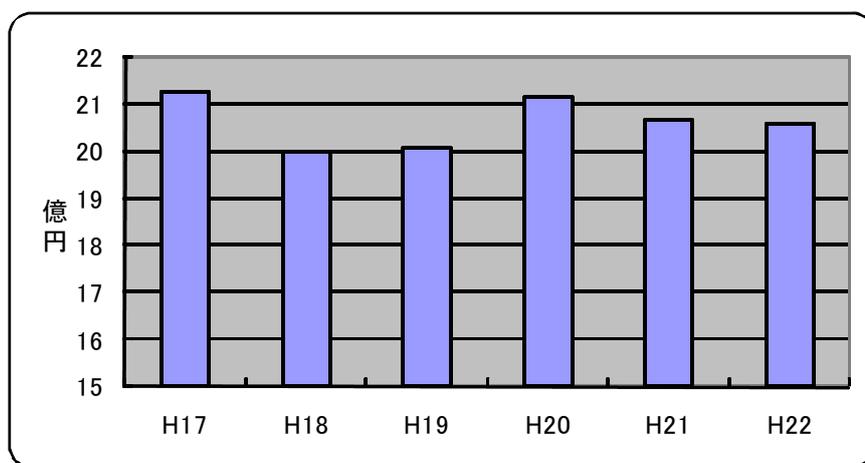
（単位 千円 %）

区 分	平成22年度 A	平成21年度 B	増減額 C = A - B	増減率 D = C / B
収入支出予算	2,061,727	2,066,350	△4,623	△0.2

【参考 当初予算規模の推移】

（単位 千円）

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
2,126,444	2,002,018	2,006,523	2,117,475	2,066,350	2,061,727



※1 平成17年度は県予算。平成18～22年度は法人予算。

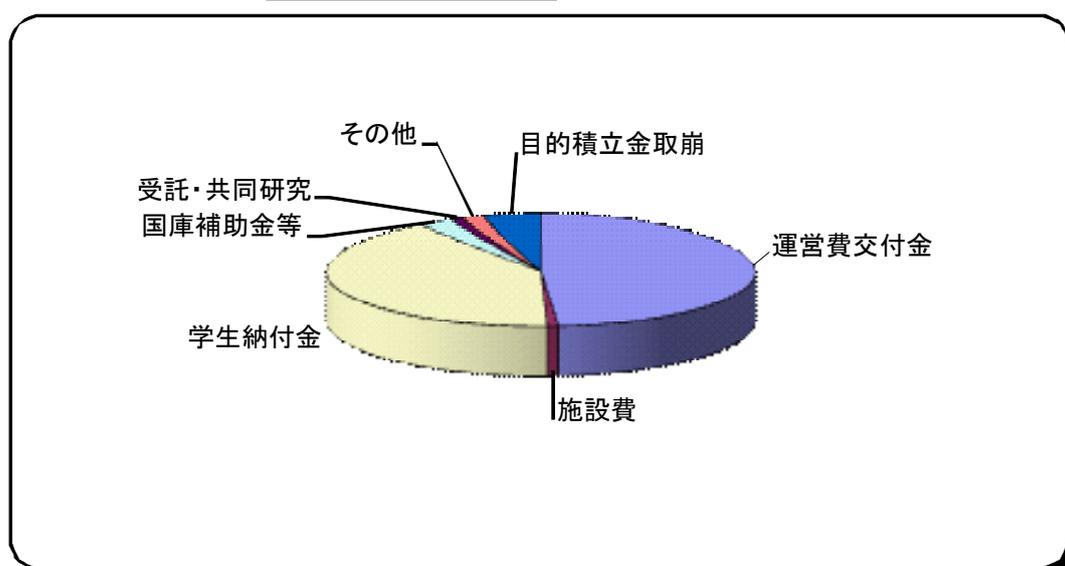
※2 平成17年度は、独立行政法人移行経費、大学院博士後期課程設置経費（146,775千円）を含む。

2 収入予算の状況

- ① 運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の89.6%を占めています。
- ② 運営費交付金は、中期計画期間中の総額（62億円）の範囲内で、法人の財政計画に沿って県から交付される額から、平成21年度から23年度までの措置として法人自ら行う給与の減額分（平22:26,037千円）を控除した額を計上しています。
- ③ 学生納付金は、収容定員増（平成19年度学部学科再編による学年進行分）などにより7百万円の増を見込んでいます。
- ④ 国庫補助金等は、文部科学省G P補助金に係る事業4件が平成21年度をもって終了したことから23百万円（31%）減少しています。
- ⑤ 教育研究・業務運営の充実、施設設備の改善を図るため、目的積立金取崩収入91百万円を計上しています。

(単位 千円 %)

区 分	平成22年度 A		平成21年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金	1,004,150	48.7	1,032,073	49.9	△27,923	△2.7
施設費	17,088	0.8	17,917	0.9	△829	△4.6
学生納付金	843,859	40.9	836,527	40.5	7,332	0.9
国庫補助金等	53,150	2.6	76,624	3.7	△23,474	△30.6
受託・共同研究収入	18,000	0.9	16,000	0.8	2,000	12.5
その他	34,501	1.7	37,209	1.8	△2,708	△7.3
目的積立金取崩収入	90,979	4.4	50,000	2.4	40,979	82.0
合 計	2,061,727	100.0	2,066,350	100.0	△4,623	△0.2

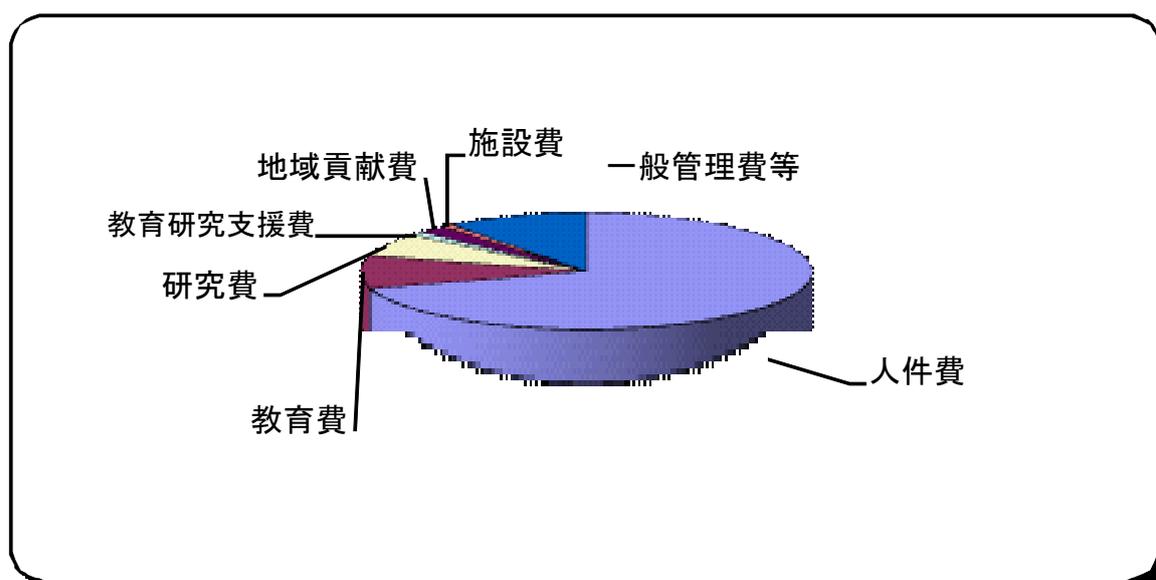


3 支出予算の状況

- ① 人件費が支出総額の70.2%を占めていますが、人員減などにより、前年度に比べ3.7%の減となっています。
- ② 人件費以外の事業費（教育研究に係る経費など）は、前年度に比べ8.9%の増となっていますが、新規拡充の取組や教育設備の更新等により、特に教育経費が大きく伸びています。
- ③ 地域貢献経費は5.0%の減となっていますが、文部科学省G P補助金に係る事業の終了によるものです。

(単位 千円 %)

区 分	平成22年度 A		平成21年度 B		増減額 C=A-B	増減率 D=C/B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
人件費	1,447,161	70.2	1,502,020	72.7	△54,859	△3.7
うち役職員給与費	1,401,060	68.0	1,456,333	70.5	△55,273	△3.8
うち退職金	46,101	2.2	45,687	2.2	414	0.9
教育経費	188,457	9.1	155,237	7.5	33,220	21.4
研究経費	133,095	6.5	114,354	5.5	18,741	16.4
教育研究支援費	21,368	1.0	8,393	0.4	12,975	154.6
地域貢献経費	42,835	2.1	45,095	2.2	△2,260	△5.0
施設費	17,088	0.8	17,917	0.9	△829	△4.6
一般管理費その他	211,723	10.3	223,334	10.8	△11,611	△5.2
合 計	2,061,727	100.0	2,066,350	100.0	△4,623	△0.2



Ⅲ 主要事項

1 大学改革の推進

(1) 文部科学省戦略的大学連携支援プログラム

＜個性的小規模大学連携による地域活性型e-quality仮想的大学の創生＞

平21.7採択 36,000千円

地域に生き学び輝く学生を育み、地域を活性化する原動力とするため、県内高校、自治体や団体、試験研究機関などと連携しながら高校生や地域市民もアクセス可能な能動的学習空間を提供する仮想的大学の創生を目指します。

[連携大学]	山口県立大学（代表校）、山口東京理科大学、山口学芸大学
[事業期間]	平成21年度～23年度
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none">・ 高大接続教育プログラムの共同実施・ 語学、情報など各大学に共通する科目のモデル教材開発・ 各大学の得意分野に係る教養科目の教材開発、共有・ 臨地実習型授業の共同開講・ テレビ会議システムによる公開授業の配信 等
[総事業費]	124,400千円

(2) 教育の質保証等に向けた組織的取組の強化 新規 4,500千円

学生や社会のニーズ、教育の質保証の要請等に的確に対応するため、新たに「教育研究推進室」を設置し、大学教育の企画立案、教員の研究活動の促進に資する組織的な取組の強化を図ります。

◇教育企画対策

教職員研修、学習支援のあり方検討、将来戦略策定、文部科学省大学改革等推進補助金新規申請推進 等

◇研究推進対策

研究推進体制企画立案、文部科学省科学研究費補助金申請推進 等

◇大学改革推進シンポジウムの開催

(3) 現代G P、特色G P等の成果の継承

平成21年度に文部科学省の補助事業期間が終了した4件のG P（現代G P 2件、特色G P 1件、社会人学び直しG P 1件）について、その成果を生かし、大学単独事業として引き続き実施します。

◇やまぐち多世代交流・地域共生授業（現代G P継承）	2,500千円
◇環境・健康教育・副専攻環境システム（現代G P継承）	6,180千円
◇地域交流・体験学習を通じた福祉人材養成（特色G P継承）	1,482千円
◇キャリアアップ研修（管理栄養士）（学び直しG P継承）	2,369千円

2 教育研究活動の新たな展開

(1) 「地域学」の開講

新規

950千円

山口県の自然、政治経済、文化などをフィールドワークを交えて総合的に学ぶことにより、地域の課題を見だし、地域の特性を踏まえたよりよい地域づくりに取り組む能力を培う新たな教養科目として「地域学」を開講します。

[開講時期] 平成22年4月（前期開講）

(2) 食育プロジェクトの展開

拡充

1,670千円

本学の特色を生かし、食育に関する学生の実践活動や食生活自立の支援と、地産地消を組み合わせた取組を総合的に展開します。

◇地産地消プロジェクト

授業及び学生の課外活動と連携した地産地消メニューの開発、学生向け料理教室の開催、地産地消メニューの学生食堂における提供

◇野外活動ボランティア

山口徳地青少年自然の家等をフィールドとした学生による食育体験プログラムの実践

◇お弁当の日プロジェクト

学生を中心とした「お弁当の日」の実践、啓蒙活動

(3) 国際共同研究の推進

新規

3,724千円

学術交流協定締結校等との間で、本学の特色を生かした共同研究の取組に着手します。

◇ラップランド大学（フィンランド）との共同研究

山口とフィンランドの地域資源を活用した衣服や生活小物、日用家具等の開発

◇青島大学（中国）との共同研究

看護職の精神的健康、看護教育に関する比較研究

3 学生支援の充実

(1) 就職対策の強化

拡充

10,444千円

厳しさを増す就職状況に対応し、学生の就職活動支援体制の強化を図ります。

◇専門分野別相談等に対応した就職相談員（キャリアコーディネーター、専門分野別キャリアカウンセラー）の配置

◇学生自らの強み診断（職業適性診断）の実施及びその結果を活用した就職活動スキル向上ワークショップの開催

(2) 学業成績優秀者奨学金

新規

1,800千円

学生の学習意欲を高めるため、成績上位者に対する奨学金の給付を開始します。

[選考基準] 前年度の成績評価における成績上位者

[選考人数] 各学科の2～4年生各1人（社会福祉学科は2人）計18人

[給付額] 10万円（年額）

(3) 私費留學生育英資金貸与事業

新規

1,020千円

私費外国人留學生に対する経済的支援として育英資金の貸与制度を創設します。

[対象] 開発途上国（中国を含む。）の私費留學生

[新規貸付枠] 1,000千円（20万円*5人）

(4) 学生支援プロジェクト（学生支援G P）の推進

＜総合的人間関係力を涵養する学生支援＞ 継続 14,000千円

大学や地域社会(プレ社会)において、学生がプレ社会の要請に応じて様々な取組を行うことにより、自主自立の精神を養い、総合的人間関係力を獲得させます。

(5) 学生スタッフ制度の推進

継続 2,100千円 (学生支援G Pの内数)

学生に自主・自立の精神と総合的な人間関係力を身に付けさせるため、大学の公的活動や地域活動に主体的に参画する機会を提供し、併せて奨励費を支給することによりその活動を支援します。

(6) 山口県立大学国体支援プログラムの推進

新規 8,000千円

平成23年度の山口国体に向け、県立大学として全学をあげて、本学在籍又は卒業生の選手等の競技力強化等に向けた環境整備に取り組みます。

◇強化種目

アーチェリー、山岳 等

◇体制整備

- ・基礎練習強化担当教員の配置
- ・担当顧問の研修の充実
- ・スポーツ栄養学担当教員による食生活・健康管理指導 等

◇施設整備

- ・基礎練習強化のためのトレーニング室の整備
- ・クライミングウォール整備（平成21年度補正対応） 等

◇広報活動その他

4 地域貢献・地域連携の強化

(1) 心と身体の相談室の開設

新規 3,649千円

本学の知的財産と教員の専門職能を県民に還元し、県民の生活の質の向上を高めることに寄与するため「心と身体の相談室」を本格実施します。

[相談体制] 本学教員21人（医師や看護師、社会福祉士、管理栄養士等の有資格者）

[部門] 4部門（健康と介護、女性と子ども、進路相談、家庭と職場）

[利用方法] 完全予約制、1回40分、相談料3,000円/回

(2) ボランティア窓口の設置運営

継続 2,825千円（学生支援G.Pの内数）

学生や教員の自主的な活動と地域の要請をつなぐ情報拠点として、学生生活支援センターにおいてボランティア窓口の設置運営を行います。

(3) 住民主導型介護予防活動支援事業

拡充 792千円

関係機関との連携のもとで「住民による介護予防活動の促進」をテーマに平成20年度から実施しているモデル事業を着実に推進し、その成果の普及を図ります。

◇テーマ及び主な連携先

平成20年度 転倒骨折予防（山口市）

平成21年度 低栄養予防（上関町）

平成22年度 閉じこもり予防（山口市社会福祉協議会阿知須支部）

(4) オープンカレッジの充実

① 認定看護師教育課程の開講

継続 25,450千円

[開講時期] 平成22年8月～平成23年2月（6ヶ月）

[定員] 30人

② 教員免許状更新講習の開講

継続

542千円

[開講時期] 平成22年8月
 [講座数] 必修領域 1講座 選択領域 10講座

③ オープンカレッジ（地域開放講座）講座数（予定）

区分	平成22年度		平成21年度
公開講座	5講座		5講座
公開授業	11講座		10講座
公開講演会	4講座		4講座
サテライトカレッジ等	14講座(11市町)	←	14講座(11市町)
やまぐち桜の森カレッジ	4コース		4コース
キャリアアップ研修	4講座		4講座
高校生対象夏季公開講座	3コース		3コース
計	45講座等		44講座等

公開講座	「活力ある地域とは～見方を変えてくらしに活かす」、「今を生きる子どもと家族」、「話題の健康 気になる子育て・孫育て」、「やまぐちの文学」等
公開授業	「生命と生活の質特論」、「基礎セミナーⅠ（環境）・（健康）」、「環境理論特別講義Ⅰ・Ⅱ」、「環境問題」、「地域学」、「医学」、「アジア文化論」、「異文化交流論」、「アフリカ社会・文化論」
サテライトカレッジ等	「すこやかライフセミナー」、「今が旬！心豊かに愉しく生きる」、「ふれあう異文化、つながる世界」、「生涯青春！地域を知ろう」、「地域環境アドバイザー養成」、「地域リーダーキャリアアップ」、「世界への扉を開こう！豊かなライフスタイル再考」、「一緒に子育てを考えてみよう」、「日本文学再発見」、「生涯学習ボランティア講座」等
キャリアアップ研修	「生活習慣の改善を促す効果的支援方法」、「発達障害の理解と対応」、「教員免許状更新講習」、「感染対策セミナー」

5 国際化の推進

(1) 国際交流の拡大の取組

拡充

1,920千円

新たにフィンランドのラップランド大学と学術交流協定を締結し、学生交流、教員交流、共同研究の展開を図ります。

◇ラップランド大学との協定締結 平成22年4月予定

◇本学の学術交流協定締結校 平21.3現在 6校

曲阜師範大学（中国）、慶南大学校（韓国）、センター大学（米国）、
ビショップス大学（カナダ）、ナバラ州立大学（スペイン）、
青島大学（中国）

(2) 留学生と地域との交流の推進

拡充

510千円

地域の小中学生等に異文化との出会いを提供するため、本学留学生とともに各地域を訪問し、交流を図ります。

◇平成22年度訪問予定箇所 10地域 （平成21年度 5地域）